

く。

兵庫県には広く分布し、多く見られる。

産地。三原郡諭鶴羽山[久松,1974]。神戸市北区藍那(1ex.,21.VI.1993),木津(1ex.,11.V.1984),八多町屏風(2exs.,12.V.1993)。小野市山田(1ex.,18.VI.1987),加東郡東条町森(1ex.,11.V.1984,etc.),社町三草(1ex.,14.VII.1989),掛保郡新宮町福原(2exs.,7.VII.1992)。城崎郡日高町奈佐路(1ex.,22.V.1986,etc.),香住[高橋,1975,1982]。養父郡水の山[辻,畑中,1973,高橋,1982]。

#### 49. *Agrilus takahashii* Toyama,1988

タカハシナガタママムシ

体長,4.7-6.5mm。ウグイスナガタママムシによく似た種である。兵庫県下の記録は原記載(Kontyu, Vol.56, No.4, pp.754-756, 1988)に示されたタイプ標本のみである。尚、種名は遼山雅夫氏が筆者の名をつけて下さったものである。

産地。宍粟郡赤西[Holotype: ♂, allotype: ♀, Akasai Hyogo Pref.,Japan,24.VI.1979,M.Toyama lgt.

Paratypes,1♀, Akasai, Hyogo Pref.,Japan,23.VI.1979, T.Takahashi lgt.]。

#### 50. *Agrilus tempestivus* Lewis,1892

ウグイスナガタママムシ

体長,4.0-8.0mm。Lewis により"Usuitoge,Gunma Pref. Fukui, Fukui Pref. Chiuzenji To-chigi Pref. Kurigahara, Nagano Pref." 産標本で記載された種である。

内側隆線は強く波曲し、長いが形状の変化が多い。上翅は毛斑をもたない。尾節板の先端はまるい。シデ、ミズナラなど種々の樹木につく。

兵庫県下には広く分布しているようである。

産地。川西市笹部[仲田,1978,1982]。宝塚市香合新田[伊藤,1992]。多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995]。宍粟郡福知溪谷(2exs.,16.VI.1975,M.Yuma leg.,etc.),音水(1ex.,20.VII.1959,etc.),赤西(1ex.,3.VI.1979)。養父郡坂の谷(1ex.,22.VII.1979)。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

### きべりはむし第25巻2号における 記録の訂正 稲畑憲昭

本誌25(2)において高橋寿郎氏により、稲畑採集による記録の発表がなされたが、稲畑の連絡の不振のため誤ったデータを伝えてしまいました。この場をもって訂正します。

\* p. 60, 左, 上から5行目, p. 60, 右, 下から7行目, p. 61, 左, 上から3行目, p. 61, 左, 上から12行目  
篠原祖母野山(誤) → 篠原伯母野山町(正)

\* p. 60, 左, 下から20行目(キノコゴミムシの項)  
市島町塚原妙高山 → 市島町北奥塚原、妙高山(正)

\* p. 60, 左, 下から14行目(キンバネハネカクシの項)  
桜の木から(誤) → 畑の桜の木の下の腐植物質の下から(正)

\* p. 60, 左, 下から7行目(タテジマカネコメツキの項)

神泥寺(誤) → 神池寺(正)

※タテジマカネコメツキの和名に入カミスがありました。謹んでお詫びします(編集者)

\* p. 60, 右, 上から9行目

27. VI. 1996(誤) → 27. VI. 1997(正)

\* p. 60, 右, 下から7行目, p. 61, 左, 上から3行目, p. 61, 左, 上から12行目

六甲学院の上(誤) → 長峰山登山道入り口付近(正)

\* p. 61, 左, 上から8行目及び13行目

コササコクソウ → 取り消し

採集した個体は全てササコクソウでした。

\* p. 61, 左, 上から14行目

ヒメササ(誤) → ササの1種(正)

\* p. 61, 左, 上から15行目

19. VI. 1996(誤) → 19. VI. 1997(正)

ササコクソウムシとワダカミキリモドキは高橋寿郎氏に重複標本を送って同定して頂きました。感謝します。

(INAHATA NORIAKI 神戸市灘区八幡町1-54-C202)